

令和7年度第1回パラスポーツ協議会 議事録

1 開催日時

令和7年5月2日（金曜日）午後1時00分～午後2時10分

2 開催場所

市役所本庁舎9階第1会議室

3 出席者

(1) 委員

渡邊委員、室田委員、高橋(久)委員、佐藤委員、森委員、山崎委員、
神田委員、松本委員、安藤委員、高橋(伸)委員 計10人

(2) 事務局

<生涯スポーツ課>

石山課長、金子課長補佐、三橋課長補佐、伊藤スポーツ振興係長、
行木主任主事、湯浅主任主事、飯尾主任主事

4 欠席者

蛭沢委員、春日委員

5 議題等及び公開・非公開の別並びに非公開の場合にあっては、その理由

(1) 令和6年度事業報告について 公開

(2) 生涯スポーツ推進計画について 公開

(3) プロスポーツ等に関する事業の概況について 公開

(4) 東京2025デフリンピックについて 公開

(5) 第23回全国障害者スポーツ大会「SAGA2024」について 公開

(6) 令和7年度事業計画（案）について 公開

6 傍聴者数

1人

7 議事録 以下のとおり

司会	本日出席の委員は10名でございます。 船橋市パラスポーツ協議会設置要綱 第6条第2項に「協議会は、委員の半数以上の出席がなければ、会議を開くことができない。」と規定されておりますが、委員の半数以上の出席がございますので、会議が開催できることをご報告します。 また、本日の会議は公開となっており、1名の傍聴者がございます。 それでは、協議会設置要綱 第6条第1項の規定により、会長が議長となることとなっておりますので、今後の議事進行につきましては、渡邊会長にお願いしたいと思います。では、渡邊会長よろしくお願いいたします。
渡邊会長	～次第I 報告～ 傍聴人を入れてください。 傍聴人は会議の進行にご協力を願います。 「報告1 令和6年度の事業報告」について、事務局より説明をお願いします。
事務局	資料1ページをご覧ください。 令和6年度の事業について、主だった点を報告いたします。

	<p>1 パラスポーツ協議会について、 令和6年度は4月と8月の2回開催いたしました。</p> <p>2 パラスポーツ競技の体験会について 咲が丘小学校の体育館において市と包括連携協定を結ぶ「あいおいニッセイ同和損害保険株式会社」に所属するデフサッカー日本代表ゴールキーパーの松本選手にお越しいただき、デフスポーツ講演及び体験授業を実施いたしました。</p> <p>3 市が保有する物品等について 資料2ページをご覧ください。令和6年度は経年劣化により破損した、船橋アリーナのサウンドテーブルテニス用のボール及び運動公園のボッチャボールを購入いたしました。</p> <p>また、東部公民館工事のため、薬円台公民館でボッチャの貸出を行っておりましたが、工事が終了したため、令和7年4月1日から東部公民館での貸出を再開しております。</p> <p>なお、令和6年度の貸出実績を別冊資料の1に掲載していますので、後ほどご覧ください。</p> <p>4 大会等への協力について 資料2ページに記載のとおりです。(3)卓球バレー交流大会及び(4)ウォーキングフットボール体験会&交流大会は、千葉県パラスポーツコーディネーター派遣事業を活用しております。報告書を別冊資料2に掲載しています。</p> <p>(5)ボッチャ交流大会は、令和5年度から船橋市スポーツ推進委員協議会の主催となり、令和6年度においても地域でのブロック大会を始め、委員の方々の協力により進められ、成功することができました。</p> <p>卓球バレーやウォーキングフットボール、ボッチャ交流大会は障がいの有無に関わらず、市民の皆さんが誰でも参加でき、パラスポーツの普及のため大切な大会となっています。</p> <p>5～6につきましては、資料に記載のとおりでございます。</p> <p>7 パラスポーツ関係のアスリート等による講演会の開催について 「東京2025デフリンピック」デフバレーボール男子日本代表監督で、高根台第三小学校で教員をつとめている村井貴行氏をお招きし、きららホールにてデフリンピックの見所や楽しさについてお話しいただきました。誰でも参加できる形での講演会は今回初めての開催となりました。</p> <p>委員の皆様の中には当日ご参加いただいた方も多く、大変ありがとうございました。</p> <p>8につきましては、資料に記載のとおりでございます。</p> <p>9 企業や地域との連携について 市と包括連携協定を結ぶ「船橋東武百貨店」と、一般社団法人船橋市ユニバーサルスポーツ協会の協力で、ボッチャ及び卓球バレーのパラスポーツ体験会を開催しました。</p> <p>報告1について、以上となります。</p>
議長	<p>報告1について、何かご質問はございますか。 無いようですので、続けます。</p> <p>「報告2 生涯スポーツ推進計画」について、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>報告2について事務局より説明させていただきます。 別冊資料の3ページをご覧ください。</p> <p>令和4年3月に策定された、第二次船橋市生涯スポーツ推進計画は令和4年度～8年度までの5年間とされていることから、今後、次期計画を策定する必要がございます。</p> <p>次期計画につきましては、令和9年度～13年度までの5年間を予定しております。</p>

	<p>す。</p> <p>法令の定めるところはございませんが、障害の有無に関わらず誰もがスポーツに楽しみ、人もまちも健康となる計画を策定する必要があると考えておりますことから、パラスポーツ協議会の委員の皆様にもご意見を頂戴いただくことがあろうかと存じます。その際は、よろしくお願ひいたします。</p> <p>下段の策定スケジュール（案）をご覧ください。</p> <p>令和7年度は、計画策定に向けた基礎資料を収集する目的から、市民アンケートを実施いたします。</p> <p>令和8年度は、次期計画の骨格から素案までを作成し、パブリックコメントを経て年度末の次期計画策定を目指します。</p> <p>委員の皆様には、協議会の場でご意見をいただくほか、場合によっては書面等でご連絡やご意見を頂戴する機会があるかと思いますので、その際はご協力のほどよろしくお願ひいたします。</p>
議長	<p>報告2について、何かご質問はございますか。</p> <p>特に無いようなので、進ませていただきます。</p> <p>「報告3 プロスポーツ等に関する事業の概況」について、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>事務局でございます。本市におけるプロスポーツ等に関する取組は、政策企画課が所管業務として取り組んでいるところです。</p> <p>障害の有無に関わらず、誰もがスポーツに親しめるよう周知したく、この取組について、政策企画課 松本委員よりご説明いただきますようお願いいたします。</p>
松本委員	<p>「プロスポーツ等に関する事業の概況について」報告いたします。</p> <p>内容といましましては、わたくしども政策企画課が事務局を務めております「船橋市プロスポーツ等連携推進委員会」が実施いたしました、令和6年度におけるプロスポーツ・企業スポーツチームとの主な連携実績、そして令和7年度の事業計画が報告内容となります。</p> <p>主だった取り組みを別冊資料6ページの資料4の中からご紹介いたします。</p> <p>はじめに、令和6年度事業実績について、いくつかご紹介いたします。</p> <p>プロスポーツ等連携推進委員会では、事業を2本柱で行っています。</p> <p>1つ目の柱が「地域・経済活性化事業」で市民にご参加いただけるイベントの実施、2つめの柱が「シティプロモーション事業」、こちらは公共施設の装飾などになります。</p> <p>連携しているチームは、千葉ジェッツふなばし、クボタスピアーズ船橋東京ベイの2チームです。</p> <p>1つの柱「地域・経済活性化事業」から、いくつか実績をご紹介いたします。</p> <p>6ページ①Aのパブリックビューリングです。事業概要にありますように、各チームのシーズンにおいて盛り上がるタイミングで実施するもので、多くの市民に対してチームをご紹介するとともに、みなさんがチームを応援できる場所を提供するものです。</p> <p>千葉ジェッツのシーズン開幕戦令和6年10月5日にイオンモール船橋のスペースをお借りして、試合の様子を放映するとともに、お子様向けのバスケットシュート体験コーナーや市が所有する記念品の展示を行いました。参加者は、パブリックビューリング観戦者が110人、シュート体験が200人程度でした。</p> <p>続いて7ページのスピアーズの開幕戦令和6年12月22日も同様にパブリックビューリングを行いました。実績は記載のとおりとなります。</p> <p>次に①Bタグラグビー教室との連携企画です。市とスピアーズが締結した包括連</p>

	<p>携協定に基づく事業として、毎年4・5校の小学校で、タグラグビー教室が実施されております。その実施校に対して、継続的にラグビーに親しんでもらえるよう、ご覧のようなタグラグビーセットをお送りしました。</p> <p>続いて2つめの柱「シティプロモーション事業」からの実績をご紹介します。</p> <p>9ページ②をご覧ください。多くの方の目に触れる駅前の公共施設などにチームの装飾を施すことで、船橋市をホームとして活躍するチームをPRするとともに、チームの応援機運向上、チームへの愛着、そして船橋というまちをもっと好きになっていただきたいという思いで行っております。</p> <p>ご覧のような「JR船橋駅南口ペデストリアンデッキの装飾」や「郵便ポストの装飾」南船橋ららアリーナ前の「浜町中央公園の装飾」、13ページに掲載するとともに本日お配りしております、こちらのパンフレットの作成・配布などを行いました。</p> <p>6年度実績については以上となります。</p> <p>続きまして、令和7年度事業計画についていくつかご報告いたします。</p> <p>6年度同様、注目を集めるタイミングで、イオンモールやららぽーとの広場をお借りしてパブリックビューイングの実施を計画しています。</p> <p>15ページ①Aをご覧ください。現在、両チームともシーズン終盤にさしかかり、プレーオフ進出が決定していますので、勝ち上がり状況次第で、5月中の事業実施の話を施設側と進めています。</p> <p>また、前年度同様、次のシーズン開幕戦でのパブリックビューイングの開催も、施設、チームと準備を進めてまいります。</p> <p>17ページ①Cは、令和7年4月12日、13日にすでに実施いたしました、ジェットのホームタウンフェスティバルです。ホームゲーム船橋市民招待デー開催に合わせ、ららアリーナ前の浜町中央公園で、バスケットボール、ふわふわ遊具、文化・スポーツ等体験ブースを設置し、観戦チケットをお持ちでない方でも楽しめるような企画を実施しました。残念ながら二日目は雨で中止となりました。ユニバーサルスポーツ協会様におかれましては、ご準備いただいたのに大変申し訳ありませんでした。</p> <p>その他、18ページ①D、19ページ①Eです。シーズン終了時には、ジェットでは優勝した場合のみ優勝パレードを実施予定、スピアーズでは優勝の場合の優勝報告会、優勝でなかった場合のシーズン終了報告会を実施する予定です。</p> <p>20ページ①Fは、夏の暑い時期にはなりますが、両チームのシーズンオフに「トップスポーツチームフェスタ」と銘打って、アンデルセン公園にてイベントを企画しております。来園される方にバスケットやラグビーに触れていただける企画を用意しようと考えております。</p> <p>21ページ以降、②のシティプロモーション事業では、引き続きデッキやポストの装飾などで盛り上げていきたいと考えております。</p> <p>これらの事業を実施することにより、本市を訪れる交流・関係人口の創出、地域及び経済の活性化が期待できると考えております。理念としては、ご参加いただく市民の皆様がチームを直接応援することにより、チームに対してより親しみを持っていただき、それに対してチームは、その応援に応えて活躍することで、まちや市民の生活に好影響を与える存在となり、よりふなばしを好きになっていただくこと、併せて都市ブランドの向上という好循環をイメージしており、その仕組みづくりに継続的に取り組んでまいります</p> <p>以上、長くなりましたがプロスポーツ等に関する事業の概況についてです。</p>
議長	<p>報告3について、何かご質問はございますか。</p> <p>無いようですので、続けます。</p> <p>「報告4 東京2025デフリンピック」について、続けて「報告5 第23回全</p>

	国障害者スポーツ大会」について事務局より説明をお願いします。
事務局	<p>報告4、5について事務局より説明させていただきます。 まず、報告4についてです。</p> <p>きこえない、きこえにくいアスリートの国際スポーツ大会、デフリンピックが今年の11月15日～26日までの12日間の日程で開催されます、デフリンピック大会は1924年にパリで初めて開催され、東京2025デフリンピックは、100周年の記念すべき大会であり、今回、日本初開催となります。</p> <p>今後、船橋市のゆかりの選手・監督の方々につきまして、市民の皆様方へホームページ等で紹介を行う予定です。</p> <p>次に、報告5についてです。</p> <p>前回昨年8月に開催したパラスポーツ協議会にて、障害福祉課の安藤委員より船橋市の千葉県代表の6選手について情報提供がありました。</p> <p>障害福祉課より資料をいただきましたので、結果について報告いたします。別冊資料27ページをご覧ください。</p> <p>こちらは大会の優勝者の一覧となっており、2名の選手が優勝しております。特に、陸上競技の柏原選手は、2つの種目で大会新記録となる活躍をしています。</p> <p>出場された6名の代表選手の記録は34ページに掲載しております。出場された各競技で上位入賞を果たされています。</p> <p>報告4、5について以上です。</p>
議長	<p>報告4、5について、何かご質問はございますか。</p> <p>無いようですので、次に進みます。</p> <p>それでは、次第II 議題に移ります。</p>
	<p>～次第II 議題～</p> <p>「議題1 令和7年度の事業計画（案）」について、事務局より説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>事務局より説明させていただきます。</p> <p>資料6ページをご覧ください。</p> <p>令和7年度の事業計画（案）について、主だった点について報告いたします。</p> <p>1 パラスポーツ協議会について 令和7年度は3回予定しております。</p> <p>2 パラスポーツ協議会の体験会について 令和6年度と同様に計画を考えていますが、現在のところ日程等は未定となっております。</p> <p>3 市が保有する物品について 市が保有する物品は、表の通りです。</p> <p>(2) 購入予定の物品については、サウンドテーブルテニス用卓球台を購入し、東部公民館にて貸出を行う予定です。その他、貸出状況を踏まえて購入物品を検討してまいります。</p> <p>(3) 寄贈物品につきまして、別冊資料35ページをご覧ください。</p> <p>障害者スポーツ支援事業として、公益社団法人24時間テレビチャリティー委員会が行っている、パラスポーツ体験キット寄贈に申し込みを行ったところ、36ページのとおりBセットの物品の寄贈が決定されました。</p> <p>6月までに納品がされた後、37ページのとおり、船橋アリーナにてボッチャの貸出を開始する予定です。</p>

	<p>4 大会等への協力について 令和6年度と概ね同様のものを計画していますが、この他にも協力できる大会等があれば、支援していきたいと考えております。</p> <p>5 障がい者のスポーツ大会参加の促進について 市民大会をはじめ、障がい者が参加しやすくなる運営を関係団体にお願いするとともに、各種大会や団体の活動を情報提供するなど、各団体と連携してまいります。</p> <p>6 パラスポーツ指導員の養成等について 令和6年度同様5名分の講習会費用を予算立てております。</p> <p>7 パラスポーツ関係のアスリート等による講演会の開催について 講師の選定に苦慮しておりますので、委員の皆様でお心当たりがございましたら、情報提供やご推薦いただきますよう、ご協力の程よろしくお願ひいたします。8～9につきましては、今後も情報発信や連携についてより良い方法を探りつつ、継続してまいります。 また、全体をとおして包括連携協定事業者と連携しながら、パラスポーツの振興を図ってまいりたいと考えております。</p> <p>10 千葉県スポーツ振興基金 令和7年度助成金について こちらは千葉県スポーツ振興財団が行う事業となっております。 地域住民のスポーツ活動の活性化や特色のあるスポーツの普及振興のための事業について助成を受けることができ、令和7年度は障害者スポーツ振興事業について申請いたしました。 東部公民館に設置・貸出を予定しております、サウンドテーブルテニス用卓球台の購入費用に充てる予定でございます。 助成の決定は、6月上旬を予定しております。 議題1について、以上です。</p>
議長	議題1について、何かご質問はございますか。 パラスポーツ指導員の養成講座についてですが、毎年予算を組んでいただいているようですが、なかなか人が集まらないのでしょうか。その辺の状況はいかがでしょうか。
事務局	事務局です。現在地域で活躍されているスポーツ推進委員の方を中心に、初級の指導員の資格をとっていただいているところですが、近年については予算の5名は満たしていない状態となっております。
議長	高橋委員、なかなか人が集まらないのは活用の仕方なのでしょうか。
高橋（久）委員	ユニバーサルスポーツ協会の高橋です。千葉県のパラスポーツ協会では、年に2回初級の講習会を行っています。これは週末の土曜日、日曜日を利用して、4回受講していただければ初級の資格が取れるということです。 秋口と1、2月くらいの年2回やりまして、船橋ではふなばし市民大学校で通年になりますけれど、1年間通っていただければ、修了時に初級の資格が取れるという事で、私が市民大学校でそのお手伝いをさせてもらっています。 卒業生は全員とまではいかないですが、資格を取って頂いて、今年も10名ぐらい資格は取れたと思っているのですが、その方達は私どもの方と連携を取って、色んな教室の指導スタッフとしてご協力を頂いたり、イベントの協力をいただいたりしておりますけれども、なかなか受講生を募集していますよっていうのがよく伝わらない部分がありまして、そういう意識を持っている方は積極的に参加していらっしゃるのですが、全体的にパラスポーツ指導員の資格を取ろうという、そういう人たちへのPR不足が多少あるんだろうなと思っております。

	それなりに受講できるチャンスはあるので、積極的に広報ふなばしとか、色々利用しながら広報していく必要があるのではないか。ただまだあまり調べていない部分があります。私どもも今年から一般社団法人の資格を取りましたので、積極的にPRしていきたいなというふうに考えております。
議長	ありがとうございます。 活用方法もユニバーサルスポーツ協会の方で考えていただいているようですが、指導者として障害者スポーツに関しての指導をするというのも、なかなか推進委員の方でも難しいから応募が少ないのかなと思います。もちろんPRも足りないのかなと思いますけれども、一般の方から参加するようにして底辺を拡げていくようなことは考えられないのでしょうか。
事務局	事務局です。会長がおっしゃるとおり、方法としては今のスポーツ推進委員からの募集では満たしていないので、他のところについても検討する必要があると思っております。ただ、指導者でかつ地域に根ざしている方というのが大切ではないかと思っておりますので、そういうところを踏まえながら募集先について検討をしていく必要があると考えております。
佐藤委員	質問ですが、このパラスポーツ指導員の方というのは、手をつなぐ育成会でこういう講習会を開きたいという時にお願いして来ていただいて指導していただく事はできるのでしょうか。 例えば私どもの団体は知的障害の方の団体なのですが、学校にいる間は体育の先生や担任の先生から支援を受けることができるが、学校を卒業すると体を動かす場面がなくなってしまい、その中でも比較的軽い方は続けたいと思うのですが、なかなか続ける機会とか指導してくださる方がいらっしゃらなくて、障害者当事者に対して、そういう指導員の方が来てくださいって、分かりやすく指導していただけるような機会を作ることができるのでしょうか。
高橋（久）委員	当協会のことと言いますと、活動目的にもなっておりますので、年間をとおして私どもも色々な民間の団体であったり、学校であったり、そのようなところに常に指導員を派遣してスポーツを楽しんでいただく機会を提供しておりますので、ご連絡いただければご協力させていただきたいと思っております。
山崎委員	スポーツ協会の山崎です。資料8ページの7番で、パラスポーツ関係のアスリート等による講演会の開催で、講師の先生が見つからないとのお話があったかと思いますが、例えば昨年やっていただいた先生に、今年もやっていただくのはどうかなと思います。この先生は11月のデフリンピックにも参加されるようなのでその経験も踏まえて。それとこのアンケートにもございますように、デフスポーツの理解が深まった方とか、もっと知りたいと思っている方がかなり多くおられますので、同じ講師の先生になりますが、2回ぐらいはお願ひしてもよろしいかなと。それもご検討いただければと思います。
議長	村井さんのお話を聞いて私もとても感動しまして、聞く人が同じ人だけとは限らないので、そういうことも考えられるかなと思っておりますけれども、事務局いかがでしょうか。
事務局	事務局です。ありがとうございます。いただいた提案ですので、村井先生にご相談差し上げたいと思います。

安藤委員	<p>障害福祉課の安藤です。今おっしゃっていただいたアスリートの講演会ということでございますけれども、障害福祉課の方でも障がい者の方を健常者の方にご理解していただくのはとても大事だと思っております。12月に船橋の障害者週間記念事業というのをやっておりまして、以前もご紹介させていただいたのですが、今年デフリンピックがあるということで、この中で陸上選手を呼んで講演会を障害福祉課の方で行いました。100人を超える市民の方がイベント等に参加していただいたんですけれども、デフのアスリートを呼んだイベントをしたアンケートを少し紹介させていただきたいと思います。</p> <p>その講演会の中では「障害者の方との社会接点が多くなることは望ましいです。」とか、「普段あまり考える時間がないので時々このようなイベントがあると障害のある人に対する理解について自分にもできる事を考える事ができて良かったと思います。」というご意見をいただきました。もう一つは手話について色々とお話ししていただいたのですが、「私は手話がほとんどわからないですが、お話を聞いてコミュニケーション相手を理解しようという気持ちが大事だとわかりました。」というようなアンケートをいただいて、その中で障害に対する理解が深まったというのが86.8%の方からいただいたので、障害福祉課の方では、障害者に対する差別だとか虐待だとかというところも所管事業で対応しているところですけれども、まずは障害のある人を知っていただくなっているのが非常に大切だと思っておりますので、先ほどから何回か出しておりますがデフリンピックもありますので、このようなパラスポーツを通じてそこを入り口として皆さんの理解を深めていきたいと思っております。また今年度も取り組んでいきたいと思いますのでご協力のほどお願ひいたします。</p>
高橋（伸）委員	<p>所管の公民館では各公民館の自主事業としてパラアスリートの方ですとか、障害をお持ちの方の講演会の計画が今年度あります、5月18日にはパリパラリンピックにトライアスロンで参加された秦由加子さんの講演会があつたりとか、5月31日には飯山満公民館でNPO法人関東パラ陸上競技協会の理事長の花岡さんにお越しいただいて、競技用の車椅子の体験とかそのような話も企画はしていますので、全体的な大きな講演会というわけではないですが、地元に根付いた活動は各公民館では自主的に行っておりますので、そのような機会も是非ご参加いただけるようなことは取り組んでいきたい。そして先ほど佐藤委員からありましたけれども、障害者の団体の方とか向けのスポーツの体験会というのは、それこそユニバーサルスポーツ協会様にご協力いただきながら、市としても援助していくべきなと考えています。</p> <p>あと、特別支援学校にも色々とご協力をいただいておりますので、そういうところとの繋がり・連携を含めて担当には検討するように伝えていきたいと思います。</p>
神田委員	<p>昨年度も様々な障害者スポーツ大会のお知らせをいただいて、学校の方でも参加できるものは参加させてもらったりしております。なかなか平日でないと学校全体までとはいかないのですが、希望者で参加しています。本校も校内で、パラスポーツに色々取り組んだりはしているのですが、今年度は校内だけじゃなくてそれこそ公民館のお力などを借りて、地域の人と交流しながらやれるといいねという話も出ておりますので、また皆様のお力添えをいただければと思っております。</p>
室田委員	<p>僕の職業から話をさせてもらいます。車椅子バスケの全日本のトレーナーを8年やらせていただいて、その中でそこのチーム、全日本に入ってみたりすると、障害持っている人たちへの価値観が大きく変わったんですね。今まで健常の方のトレーナーをしていて、障害者の方のトレーナーを始めた時にすごく衝撃を受けた</p>

	<p>というか、こういうことまでしなきゃいけないんだなという部分だったりとか、見えない部分で動かなきゃいけないものがたくさんあったりということがあつて、そういういた苦労じやないですけど、いろんな障害や色々なものを含めてもうちょっと理解してもらうような機会があると、皆さんってそういうことをあまり喋らないので、どうしてなっちゃったとかっていうことに対してあまり介入されるのが嫌だったりというのはあるので。チームとして支えていく上で、市として支えていく上でどういったものを障害を持つてる人たちに対して提供できるかつていうのがもうちょっと分かりやすくあるといいかなって思います。</p>
高橋（久）委員	<p>船橋市内ではボッチャに非常に力が入っていて非常に嬉しく思っているのですが、車いすバスケットにも力を入れていただきたいと思います。</p> <p>車いすバスケット用の車椅子というのは残念ながら船橋市で有している団体はどこもありません。昨年、私どもがようやく3台助成金を頂いて購入しましたけれども、これは船橋アリーナの方に保管していただくっていうことで了解をいただきましたので、これはもう一般の方にも是非ご利用いただきたいということで今お願いをしていますけれども、3台ではちょっと足りないのでもう少し車椅子バスケット車を購入していただいて、せめてチームで戦うには5対5なので10台必要なんですね。せめて10台ぐらいは船橋アリーナあるいは夏見の体育館が可能であればそこに合わせて合計20台ぐらいは置いておいて、障害者の皆さんができるだけ使うように是非ご協力をいただきたいと思っております。</p>
議長	<p>ありがとうございました。</p> <p>以上で、本日の案件は全て終了いたしました。</p> <p>その他、ご連絡やご質問がある方はいらっしゃいますか。</p> <p>無いようですので最後に、本日の議事録署名人を確認します。</p> <p>事務局より委員2名の選出をお願いします。</p>
事務局	事務局です。高橋久吉委員と佐藤裕美委員にお願いしたいと思います。
議長	<p>それでは、高橋久吉委員と佐藤裕美委員は議事録の署名にご協力をお願いいたします。</p> <p>ここまで円滑な議事進行にご協力ありがとうございました。</p> <p>では、事務局へお返します。</p>
事務局	<p>本日は、貴重なご意見をありがとうございました。</p> <p>いただいたご意見を踏まえ、事業計画に従ってパラスポーツの普及・啓発の取組みを進めてまいります。</p> <p>以上をもちまして、第1回船橋市パラスポーツ協議会を閉会いたします。本日は、ありがとうございました。</p>